

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和4年4月20日

提出区分	実績	整理番号	2	課題区分	C		
横断的な課題	令和元年東日本台風からの再生						
地域重点政策	地域重点政策を支える、地域一体となった「生活基盤の確保」の推進					長野地域振興局	
実施機関	長野地域振興局			担当課	所属	企画振興課	
事業名	ONE NAGANO.NET season II			電話	026-234-9501(内線2107)		
				E-mail	nagachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp		
事業概要等	目的 (目指す姿)	令和2年度に開設した令和元年台風災害からの復興を支援するウェブサイト「ONE NAGANO.NET」を一層活用することにより、復興促進の後押しを図る。					
	現状と課題	・令和2年度にウェブサイトを開設し、委託業者と積極的に情報発信に努めているが、一番利用いただきたい被災地域の住民等、一般の方の利用が低迷 ・被災から一年以上経過しているが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、復興は道半ばの状況。引き続き、ウェブサイトの活用により復興の取組みの周知・共有を図る。					
	内容 (変更後の内容)	【WEBサイト「ONE NAGANO.NET 長野地域版」の活用】 ○復興に関する情報発信・共有 ・被災地の復興・防災の取組等取材し、サイト内コンテンツ「復興へのアクション」やnoteから記事制作・発信。 ・サイト内一般投稿コンテンツ「voice」に地域の取組みを投稿してもらい、情報共有を図る。 ・発信力のある人物によるPR、SNS・WEBメディアにおける広告出稿や市町村広報等で広く情報発信。 ○被災市町村、若者との連携・協働 ・岡学園トータルアカデミーの生徒に被災地の訪問や種々のイベントへの参加を通じて学んだこと、感じたことを復興イメージキャラクターやWEBサイトロゴマークとして表現してもらう。 ・SNSや復興イベント等でPR・被災市町(特に長野市)や住民自治協議会、NPO等と緊密に連携し、被災地物産展や被災地の素材を活用した商品開発や「復興BOX」等について、各市町の取組の効果が高まるよう、サイトを活用しPR。 ○AI復興チャットボットの導入 ・復興に関するチャットボットを導入し、災害・復興に対する「学び」の機会を提供する。					
事業期間	2021.4.1		～	2022.3.31			(単位:円)
事業費	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考			
	「ONE NAGANO.NET 長野地域版」管理運営委託	業務委託	1,599,400	一式(サーバ保守、広報業務等)			
	合計		1,599,400				
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	「VOICE」(地域の取組み)投稿数		60件	60件	○ 達成		
	「復興へのアクション」(取材)記事投稿		6件	3件	● 一部達成		
	「note」記事投稿		10件	7件	○ 未達成		
事業実績・成果	【実績】 ○復興に関する情報発信・共有 ・被災地の復興・防災の取組や、学生による復興支援等取材し「復興へのアクション」やnoteから発信。 ・一般投稿コンテンツ「voice」には復興の取組みについて地域から60件の写真付き投稿あり。(昨年度比180%) 令和3年度は投稿数の増だけではなく、投稿にコメントがつきサイト内での交流も見られるなど、WEBサイトの認知度向上や活用による情報共有の促進が図られたと考えられる。 ・その他、あらゆる機会をとらえて広報・情報共有を実施。 インフルエンサー 新田恵美さんによるTwitter投稿 3回(リアクション計 1,206いいね 183RT) フリーペーパー「Biotope」での情報発信 4回(約15,000部×4回頒布) ○学生との連携・協働によるコンテンツづくり ・岡学園トータルアカデミーの学生に、令和元年東日本台風災害の学習や復興支援の取組を通して、WEBサイトのロゴマークやキャラクターを考案していただいた。復興への想いの込められたデザインを活用することで、復興について「若者目線」での情報発信を行い、これまでよりも広いターゲットに周知が図られた。 R3.6 ロゴマーク制作プレゼンの実施 R3.9「ONE NAGANO.NET長野地域版」復興イメージキャラクター一次審査 R3.10.3最終審査会 最終審査会のプレゼンの結果「かえるむ」に決定。 ○AI復興チャットボットの導入 ・復興イメージキャラクター「かえるむ」を活用し、被災市町村の災害・復興情報についての学びを提供するアーカイブチャットボットを導入。制作にあたっては、市町村(情報・資料提供等)や岡学園(かえるむの活用)と協働。また、被災地をドローンで空撮した動画も制作し、「被災地の今」を知ることが出来るコンテンツを作り上げた。 ○SNSや復興イベント等でPRのほか、被災市町(特に長野市)や住民自治協議会、NPO等と緊密に連携し、会議やイベントに参加。各市町の取組の効果が高まるよう、サイトを活用しPRも実施した。						
	【成果】 ・WEBサイトについての周知が進み、地域での活用が増加。復興の取組みに関する情報が充実し、より多くの方に共有されることとなった。 ・WEBサイト閲覧数(R3.4～R4.3) 約16,000回(昨年度比140%) ・アーカイブチャットボットへの質問回数 1,700回(R3.10.13～R4.3.31)  						
今後の方向性	・地域における復興が進んできたことから、令和4年度は「復興」に加えて「防災」にも焦点を当てて引き続き情報発信・取組の共有を図る。						